


まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	ショウジ トシオ			
氏名	庄司 敏雄			
派遣希望区	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> (    ) 区			
支援専門分野（注1）		支援専門分野の内容		
ルール又はプランづくり等	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 地域まちづくりプラン <input type="checkbox"/> 地域まちづくりルール <input type="checkbox"/> 地区計画 <input type="checkbox"/> 建築協定 <input type="checkbox"/> 景観計画    景観協定 まち普請事業 その他地域のまちづくりに関する計画		
市街地開発事業等	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 土地区画整理事業 <input type="checkbox"/> 市街地再開発事業		
防災まちづくり等		横浜市の制度を活用した地震火災対策    防災マップの作成・活用 多世代向け防災イベントの企画・運営    密集市街地の改善		
その他得意とする分野（複数選択可）	地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等）    防犯    水・緑・環境 <input type="checkbox"/> 歴史・文化・アート <input type="checkbox"/> 空き家・空き地の利活用 <input type="checkbox"/> 商店街活性化 狭あい道路整備 <input type="checkbox"/> 耐震改修 <input type="checkbox"/> 共同建替    コミュニティの再生 地域の活動拠点運営    地域公共交通    ICT・WEBの活用 その他（    ）			
支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	市街地再開発事業	中区 伊勢佐木町	平成30年～ 令和2年	伊勢佐木町商店街で老朽化した建物の更新を進めるため、有隣堂やカトレヤプラザを含むエリアで、権利者による勉強会を開催しました。 その結果、権利者の間で、再開発事業が必要という共通認識が生まれました。
	土地区画整理事業	金沢区 金澤八景地区	平成19年～ 平成22年	金沢八景まちづくり協議会による景観ガイドライン作成の支援、学生と連携した情報発信拠点「はちのば」の企画、整備、運営支援を行いました。 その結果、土地区画整理事業内の地権者間の合意形成が進み、事業が進展しました。

（注意）支援専門分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等及びまちづくり支援団体の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	公開空地や公園等の利活用	中区関内駅 周辺地区	平成28年～ 令和1年	横浜市庁舎移転後の関内駅周辺地区の活性化を図るため、関内地区の都市軸である大通り公園の有効活用を、行政と民間が連携して進めました。  この取組を、企画から実施まで、行政と民間事業者間の調整を、中心的に行いました。
	商店街活性化	中区 馬車道商店街 伊勢佐木町 商店街	令和2年～ 令和5年	中小企業庁のコロナ対策の商店街活性化事業「GOTO 商店街事業」（後に「がんばろう！商店街事業」と名称変更）の企画、応募、運営等の事務局を支援しました。
	音楽による まちづくり	中区 馬車道商店街 マリナード地 下街、伊勢佐 木町商店街	平成31年～ 令和2年	横浜港から続く商店街の都市軸を、音楽によって活性化することを目的に、ストリートピアノの設置を地元提案しました。その結果、関東で一番早いストリートピアノを実現し、運営委員会等支援しました。
	耐震改修	緑区 鴨居	平成18年～ 平成20年	公営住宅の耐震改修工事を、居住者を住まわせながら実施する手法を提案し、実現しました。  工事にあたり居住者に丁寧に説明することにより、苦情なく工事を勧めることができました。
自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）				
<p>まちづくりは、関係者の合意形成が非常に重要で、正確な情報を共有し、関係者同士の信頼関係が醸成されることが必要です。コーディネーターは、合意形成がスムーズに実現するよう、様々な場面で支援することが役割であると考えています。</p> <p>そのためには、関係者とコミュニケーションを取りながら、同じ立場で考え、分かり易い言葉で会話し、人間としての信頼を得る必要があると思います。</p>				
必要に応じて資料を A4 判 1 ページまで添付できます。				